

研究者名：尾澤 勇（美術教育センター 教授）

研究課題名：北方圏の風土を生かした資質・能力育成の基盤研究：北欧との造形教育交流と比較から

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：平成30年度～平成32年度

※補助事業期間を令和5年度まで延長

【研究概要】

本研究では、同じ北方圏に属する、東北・北海道と北欧諸国との造形教育交流と比較を通して、北方圏ならではの、郷土に根ざした児童・生徒の資質・能力の育成方法、教育内容や制度設計の方向性などについての基盤研究を行う。2014年度より、フィンランドと秋田県の中学校・高等学校の造形教育交流展を両国で開催してきた。交流深化の過程で、自然環境や風土、文化面、造形面など共通性と相違点について生徒自身が気づき、それぞれの郷土文化のよさや美しさについて実感を伴って捉えていることが造形活動や言語活動を通してわかった。そこで北方圏における人間文化の形成について、造形芸術系、自然・生態学系、社会科系の教員が集まって調査・分析し、文化や芸術を形づくる背景などについて幅広い視点で捉え、北方圏において地域社会を担う児童・生徒の資質・能力醸成につながる視点で整理し、学校教育との関係を明らかにする予定である。